

産業保健推進センター研究報告

2013.10.18

東日本大震災後の
事業所における二次的被害の
調査とその防止について

～産業保健推進センターを活用した
フォローの在り方の検討～

五十嵐 敦

(福島産業保健推進センター相談員)

【目的】

- 長期化する復興過程における安全衛生をはじめとした健康対策の策定をめざす。
- 2011年東日本大震災からの復興に向け働く人々の健康安全に関する課題は一層重要なものとなっている。そこで各事業所の現状について概要を把握する。次に、個々の従業員の調査をおこない、その被災状況や回復状況を把握し、それに即したこれからの安全衛生対策上のポイントが示唆されるであろう。

【調査研究1;企業調査】

- 「こころの健康づくり」を中心に福島県内の各事業所の実態について調査研究を行った。

【調査研究2;個人調査】

- 従業員の状態について個人のレベルで、震災後の家族状況なども含めてどのような問題が生じているのかを把握する。
- 過重労働や職場のストレスなどの健康問題が、震災前以上に大きな問題となっていることが予想された。

調査対象

福島産業保健推進センターが把握している事業所で、抽出した300社に調査用紙配布。

【調査1】205事業所から回答があり回収率は68.3%であった。

「製造業」96社(46.83%), 「医療・福祉」25社(12.20%)ほか。事業所規模では、「50～99人」79社(38.54%), 「100～199人」64社(31.22%)

【調査2】調査1の回答事業所の内19社から個人調査の協力受諾。最終的に1,105人(男性513人, 女性572人, 不明20人)のデータ回収ができた。

調査内容

【調査1】

2010年北海道・東北6県産業保健推進センターによる共同研究の大規模調査をベースにした。本研究の趣旨にそって短縮版とした。

【調査2】

基本的属性，睡眠行動の状況，
「職業性ストレス簡易調査票」，
「原発・放射線関連の不安など」，
「外傷後成長感尺度」(田口・古川，2005)，
「一般精神健康尺度」GHQ-12，

Q心の健康に問題を生じたことでの影響

事業所規模	～49	50～99	100～ 199	200～ 299	300～ 399	400～	合計	%
困難な事態に なった	2	23	20	6	8	4	63	32.14
	3.17	36.51	31.75	9.52	12.70	6.35		
困難な事態は ほとんどない	8	27	33	7	7	3	85	43.37
	9.41	31.76	38.82	8.24	8.24	3.53		
心の健康問題 は生じていない	6	28	11	0	2	1	48	24.49
	12.50	58.33	22.92	0.00	4.17	2.08		
合計	16	78	64	13	17	8	196	
	8.16	39.80	32.65	6.63	8.67	4.08		

NOCS-MH(2010年福島県内の結果)

「困難な事態になったことがある」19.8% ⇒ 1.5倍に...

Q 心の健康問題とは次のどの病状(状況)ですか？

	回答数	%
うつ病	60	66.67
統合失調症	7	7.78
アルコール依存症	3	3.33
パニック障害	11	12.22
上記以外の精神的疾患	3	3.33
自傷行為	1	1.11
自殺	3	3.33
その他	2	2.22
	90	

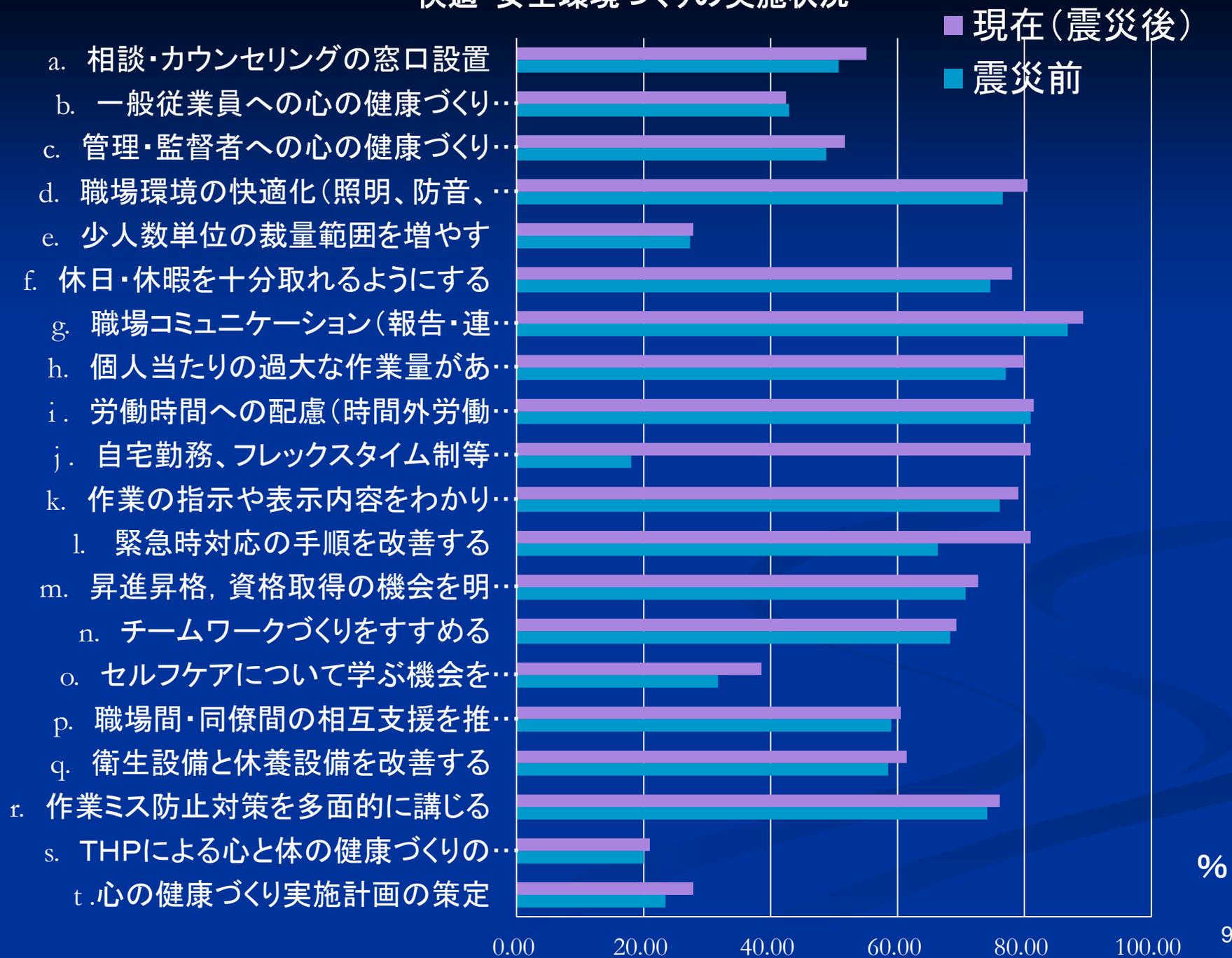
Q「震災後に、心の健康に問題を生じて、1か月以上仕事を休んでいる方の数は？」

	合計	%
大変増えた	0	0
やや増えた	12	6.98
変わらない	153	88.95
やや減った	1	0.58
大変減った	6	3.49
合計	172	

Q震災後の心の健康問題による退職者

	合計	%
いない	174	88.78
いる	22	11.22
合計	196	

快適・安全環境づくりの実施状況

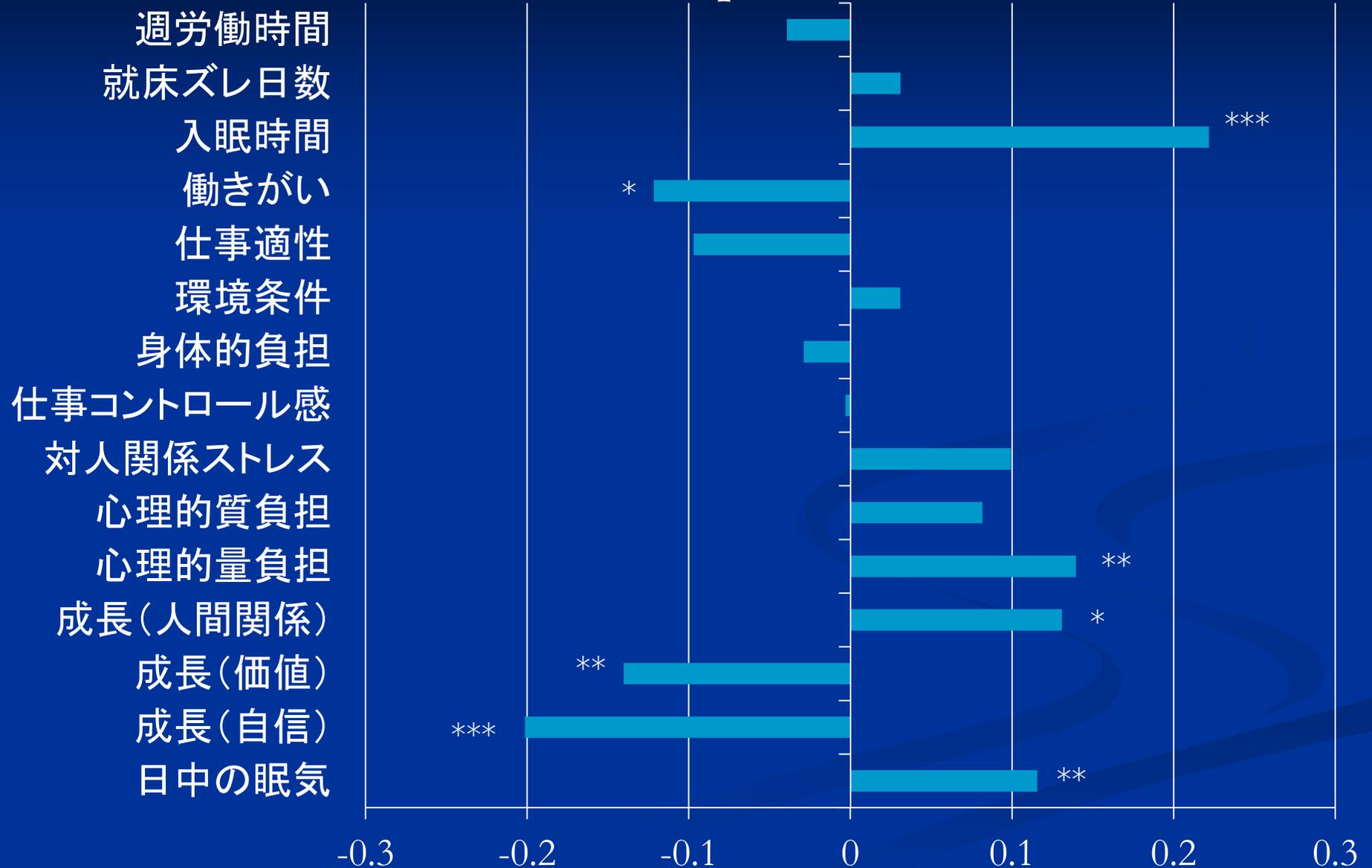


Q 心の健康づくり対策につき、困難を覚えることは(複数回答)?

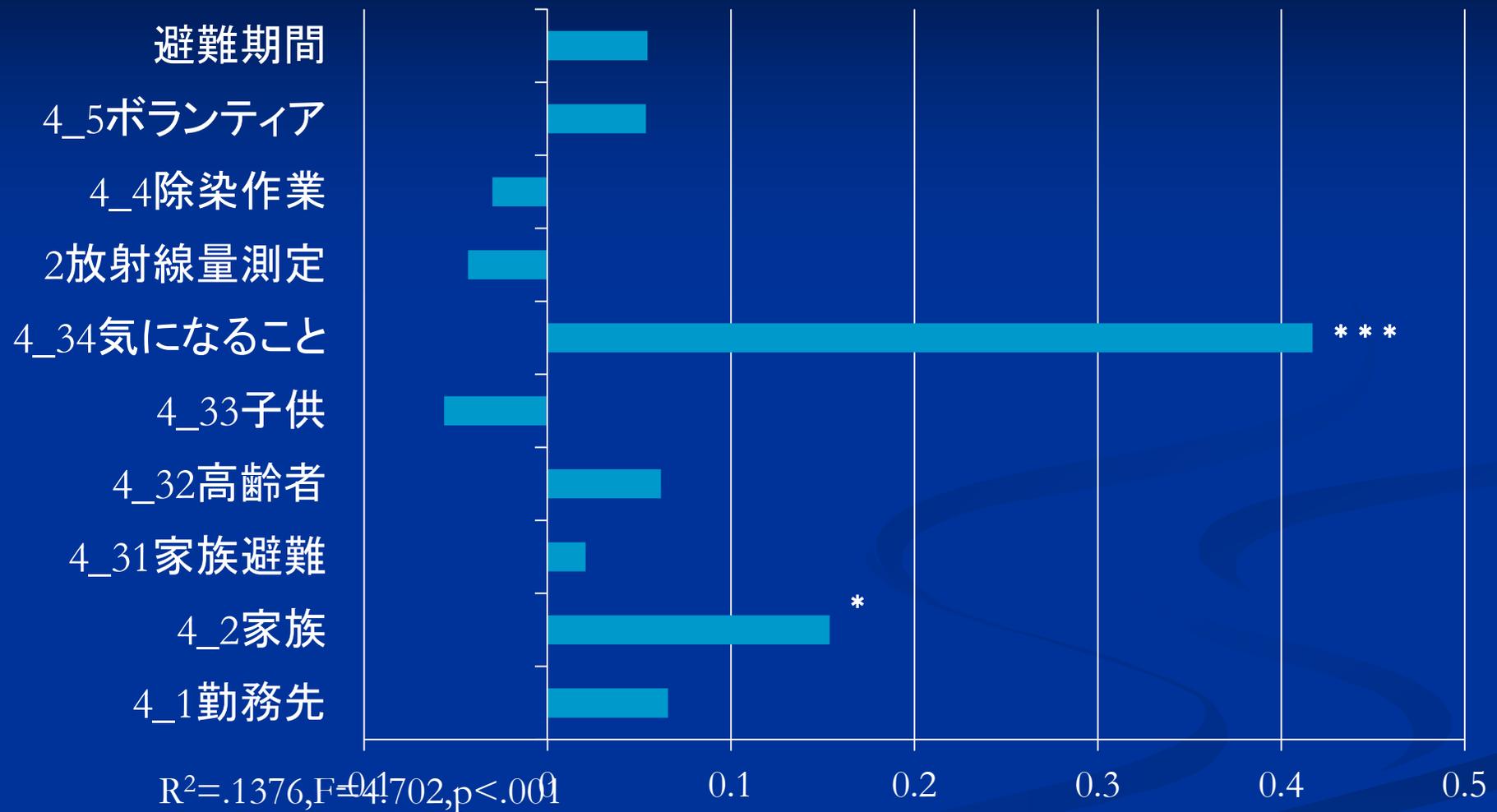
事業所規模	～49	50～99	100～199	200～299	300～399	400～	合計	%
特に困難はない	4	27	18	2	4	1	56	17.83
	7.143	48.214	32.143	3.571	7.143	1.786		
具体的な取り組み方	7	25	16	4	8	2	62	19.75
	11.29	40.32	25.81	6.45	12.90	3.23		
心の健康の専門スタッフ	8	32	25	7	8	4	84	26.75
	9.52	38.10	29.76	8.33	9.52	4.76		
予算がない	3	7	9	1	1	2	23	7.32
	13.04	30.43	39.13	4.35	4.35	8.70		
従業員の関心が低い	4	24	14	2	3	1	48	15.29
	8.33	50.00	29.17	4.17	6.25	2.08		
幹部職員の関心が低い	5	15	4	4	3	1	32	10.19
	15.63	46.88	12.50	12.50	9.38	3.13		
その他		2	5	1		1	9	2.87
		22.22	55.56	11.11		11.11		
回答数	31	132	91	21	27	12	314	

従業員調査; GHQを目的変数にした重回帰分析結果

($R^2=.2734, F=15.374, p<.001$)



従業員調査; GHQを目的変数にした重回帰分析



まとめ

- 二次的な問題の特徴や影響は特に目立たなかった。職場改善の機会となった面もあるが、小規模事業所の対応や外部機関との連携などに課題が見られた。
- あらためて通常業務や職場環境の見直し、健康的な日常生活の重要性が再確認された。
- 調査結果の活用(例)
 - ①企業内で、データに基づいた研修開催
 - ②従業員の避難家族者向けセミナーの開催

Healthy and happy worker ?

*Thank you very much for
your attention !*

ご清聴ありがとうございました！